

私の探鳥地（28）（野鳥だより 98号 1994年12）

モエレ沼（札幌市東区）

栗林 宏三

私が年間を通じて一番多く足を運んでいるモエレ沼は札幌市の中心部から北東へ9km、豊平川が残した河跡湖で、周囲約9kmで馬蹄型をした三日月湖です。現在、故イサム・ノグチ氏の設計でモエレ沼水郷公園として工事中ですが、徒歩での探鳥は自由に出来ます。



モエレ沼付近地図（1994年当時）

沼の氷が解け始める3月中頃、氷上にオジロワシ、オオワシを観る事が出来ます。氷が解けると、数多くのカモ類、アイサ類が沼に姿を現わします。キンクロハジロやミコアイサ等の特長ある姿を、対岸が近い為双眼鏡でも楽しむ事が出来ます。春秋はかなりの種類の水鳥を観る事が出来ます。カイツブリ等が繁殖して

いるので子育ての様子を観察する事も出来ます。水辺にはイソシギ、コチドリ等が観られ、記録ではアオアシシギ、オジロトウネン、ツルシギ、トウネン、ヒバリシギ、平成6年4月にはセイタカシギが観察されています。

公園の西側にある草原では、季節になるとノビタキ、オオジュリン、ノゴマ、シマアオジ等が美しい囀りと姿を見せてくれます。公園内には植樹したものはあるが、緑が多く沼がある為、渡りの季節にはミソサザイ、ツグミ、クロツグミ、タヒバリ等も観られます。

平成5年、6年の2年間で観た鳥：カイツブリ、ハジロカイツブリ、アオサギ、トビ、オジロワシ、オオワシ、チュウビ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ、コハクチョウ、マガン、ヒドリガモ、ヨシガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カワアイサ、コウライキジ、バン、オオバン、コチドリ、イソシギ、オオジシギ、カモメ、オオセグロカモメ、シロカモメ、ユ

リカモメ、キジバト、カッコウ、アマツバメ、アリスィ、アカゲラ、ヒバリ、ショウドウツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、アカモズ、モズ、ミソサザイ、ノゴマ、ルリビタキ、ノビタキ、クロツグミ、アカハラ、ツグミ、エゾセンニュウ、シマセンニュウ、マキノセンニュウ、コヨシキリ、エナガ、ハシブトガラ、シジュウカラ、ホオジロ、ホオアカ、カシラダカ、シマアオジ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、チュウサギ 以上 75 種

公園の工事が始まり、自然のブッシュや草原がなくなりました。又、公園の外では開発の波が押し寄せています。雁来新川の西側にあった王子製紙苗畑は、ゴルフ練習場、パークゴルフ場となり、近くの畑は「札幌里づくり事業」の工事中です。年々、鳥達にとって生活しにくい環境になって采ました。公園化と自然を残すと言う問題は難しい事ですが、色々考えさせられる場所です。